公開文書

掛川市

三笠幼稚園の今後のあり方検討について

令和7年12月

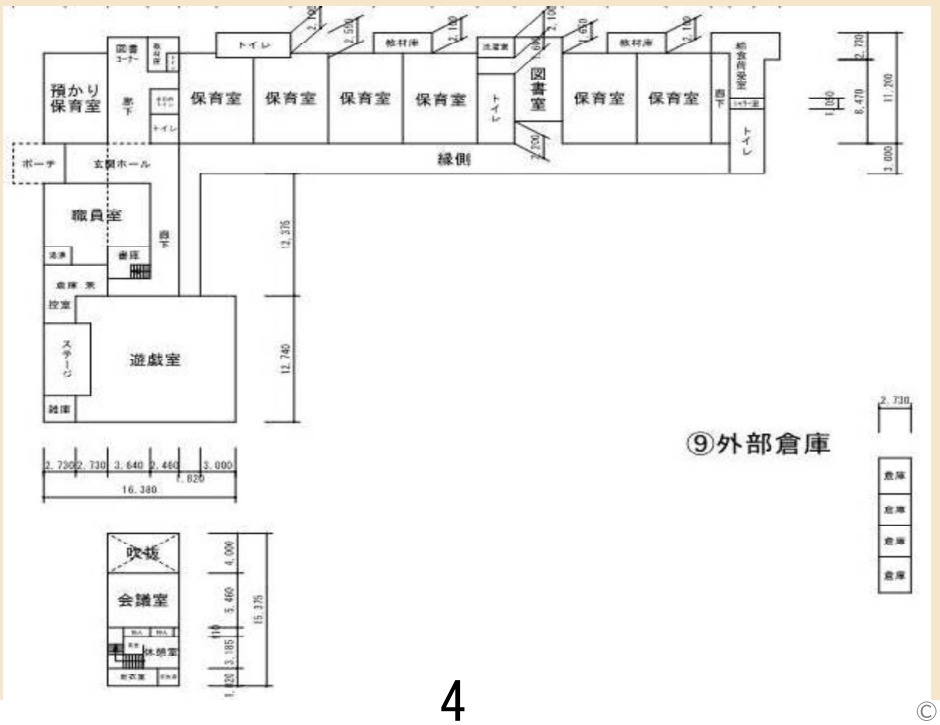
こども希望部

© 掛川市 2025

三笠幼稚園の施設の状況

建築年度	構　造	建物面積	敷地面積
平成21年度 （2009年度）	木　造	1，251㎡	8，325㎡

建物平面図



© 掛川市 2025 公開文書

三笠幼稚園のあり方を検討する3つの背景

① 公共施設を取り巻く状況

② こどもの減少

③ 保育ニーズの増加

① 公共施設を取り巻く状況

課題1：少子高齢・人口減少社会の到来

・2020年→2040年の20年間で、高齢者人口の割合は27.6% → 32.1%まで増加、生産年齢人口の割合は58.9% → 54.7%まで減少する見込み。

課題2：厳しい財政状況

・高齢化の進展と共に、扶助費の増加が予想される。
・また、生産年齢人口の減少に伴う市民税の減少により、財源の確保は厳しくなる見込み。

課題3：公共施設の老朽化

・現在、市が保有している公共施設の58%が建築後30年を超えており、今後老朽化による大規模改修等に多額の費用がかかる見込み。

今後、人口動向や財政の見通し、利用者のニーズ等に配慮しながら、公共施設を適正に配置していくことが重要

① 公共施設を取り巻く状況

掛川市公共施設再配置計画　令和7年3月策定

将来の維持管理費用　　年平均 約74億円

用意できる財源　　約40億円

約34億円の不足

【新設】から【賢く長く丁寧に使う】へ

①保有総量の適正化　②長寿命化と安全確保　③運営管理の適正化

① 公共施設を取り巻く状況

ア　縮減目標　※令和4年3月改訂により公共施設等総合管理計画にも明記

約34億円の不足を解消するため、今後50年間で何をどこまでやるか

方向性
インフラ⇒現状維持
公共建築物⇒縮減

手　段
延床面積の縮減により更新費及び維持管理費を削減

延床面積の縮減目標 約25%

イ　再配置検討の方向性

「縮　充」
統廃合・複合化等の機会を活用し既存施設ではなし得なかった**施設サービスの質の向上**を図る

✖

「用途別検討」
＜各地域に必要な施設＞
地域ごとに複合化⇒交流賑わいの創出
＜市全域で検討すべき施設＞
用途ごとの検討・**公民連携の拡大**

① 公共施設を取り巻く状況

公立園3園の公共施設再配置計画

三笠幼稚園・さかがわ幼稚園

【再配置の方向性】

子どもの人口推移等を勘案しながら、民間譲渡・統合・廃止(※)の中から検討

※民間譲渡：他の私立園との統合・再編を含め、譲渡すること

※統合：公共施設同士で統合・再編すること

※廃止：市立幼稚園としての運営を終了すること（子育て支援施設など他の用途として利活用する場合を含む）

【再配置の検討時期】

平成30年（2019年）～令和10年（2028年）

すこやかこども園

【再配置の方向性】

機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討

© 掛川市 2025 公開文書

② こどもの減少

（1）0歳～11歳までの人口（コロナ禍前との比較）

各年4月1日時点

	R2	R7	R7－R2	減少率
掛川区域	9,973	8,915	△1,058	△10.6%
大東区域	1,830	1,470	△360	△19.7%
大須賀区域	924	684	△240	△26.0%
掛川市計	12,727	11,069	△1,658	△13.0%

	R2	R7	R7－R2	減少率
西　郷	984	859	△125	△12.7%
倉　真	129	110	△19	△14.7%
原　泉	28	15	△13	△46.4%
地区計	1,141	984	△157	△13.8%

© 掛川市 2025 公開文書

② こどもの減少

(2)歳児別人口(令和2年から令和7年)

各年4月1日時点

	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R2との比較
	人口	前年比	人口	前年比	人口	前年比	人口	前年比	人口	前年比	人口	前年比	
0歳児	860	△73	820	△40	832	12	717	△115	712	△ 5	659	△53	△201
1歳児	965	△21	899	△66	853	△46	857	4	747	△110	716	△31	△249
2歳児	985	△49	948	△37	900	△48	868	△32	854	△ 14	768	△86	△217
3歳児	1,027	△29	990	△37	951	△39	921	△30	876	△ 45	858	△18	△169
4歳児	1,058	4	1,024	△34	985	△39	951	△34	919	△ 32	871	△48	△187
5歳児	1,053	△83	1,059	△6	1,026	△33	998	△28	966	△ 32	932	△34	△121
計	5,948	△251	5,740	△208	5,547	△193	5,312	△235	5,074	△238	4,804	△270	△1,144

・0～5歳児の人口は、減り続けている。令和2年以降 1,144人 減少。
・コロナ禍において、経済活動の停滞や将来への見通しの不安感などで出産を控える傾向もあったが、5類感染症移行後も増加傾向に転じていない。

② こどもの減少

(3)地域のこども数の推移

① 令和2年4月1日現在

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
西 郷	50	84	78	103	79	81	475
倉 真	9	11	12	15	6	10	63
原 泉	1	2	3	0	4	3	13
計	60	97	93	118	89	94	551

② 令和7年4月1日現在

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	減少率
西 郷	48	48	56	68	68	59	347	△26.9%
倉 真	4	5	8	6	10	10	43	△31.7%
原 泉	0	0	1	0	1	1	3	△76.9%
計	52	53	65	74	79	70	393	△28.7%

158人減少

③ 保育ニーズの増加

(1)幼稚園・保育園・こども園の主な違い

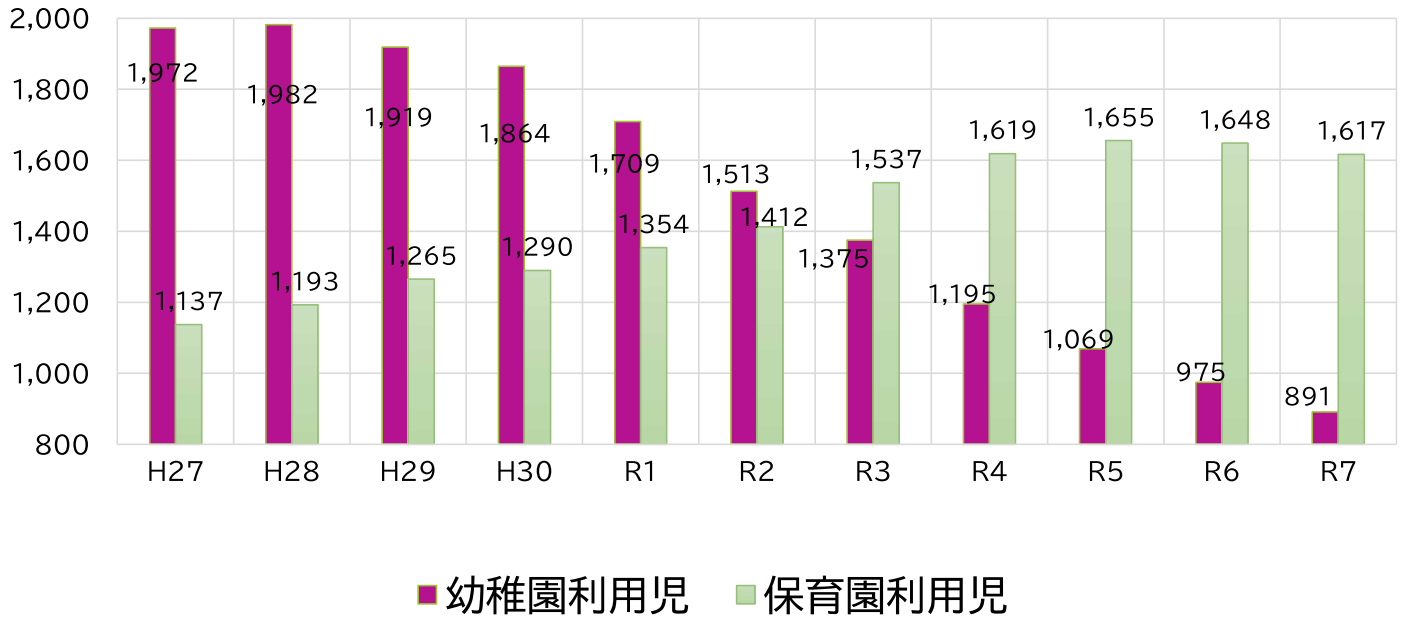
	幼稚園	保育園	こども園
対象年齢	3歳から小学校就学前	原則6か月から小学校就学前	保育園利用： 保育園と同じ 幼稚園利用： 幼稚園と同じ
利用時間	概ね8時半～14時 ※14時以降は預かり保育	短時間利用：1日概ね8時間以内 標準時間利用：1日概ね11時間以内 ※延長保育により最長12時間まで可	
開 園 日	原則、平日のみ ※夏休み等、長期休業日あり	土曜保育あり ※夏休み等、長期休業日なし (園により異なる場合があります)	
保 育 料	幼児教育・保育の無償化により令和元年10月以降、無料	0歳から2歳までは保護者の市民税額により保育料を算定。3歳以上の保育料は、令和元年10月以降、無料	

※14時までの教育・保育は、園種による違いはほとんどありません(園による違いは多少あります)。
※こども園は、幼稚園と保育園が一緒になったイメージ。幼稚園の子と保育園の子が一緒のクラスにいて、幼稚園の子は14時になったら帰るイメージ。
※保育園では保護者が退職した場合、退園しなければいけないが、こども園では、保育園利用から幼稚園利用に変わることで、退園しなくて済むメリットがある。

③ 保育ニーズの増加

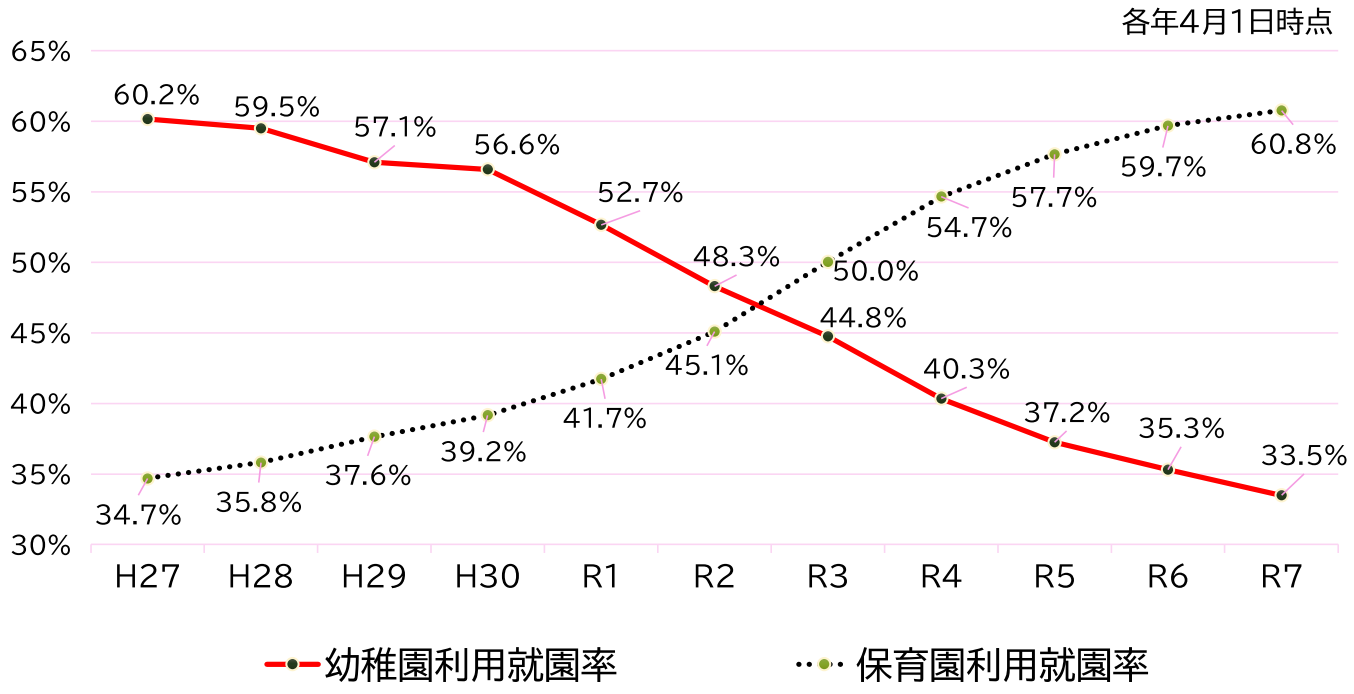
(2)幼稚園(1号)利用児と保育園(2号)利用児の推移(認可外を除く)

各年4月1日時点



③ 保育ニーズの増加

（3）幼稚園（1号）利用児と保育園（2号）利用児の就園率の推移（認可外を除く）



③ 保育ニーズの増加

（4）三笠幼稚園の入所状況

単位：人　各年4月現在

年度	定員	3歳児	4歳児	5歳児	計	入所率
R2	160	45	35	43	123	76.9%
R3	160	30	44	38	112	70.0%
R4	160	33	32	42	107	66.9%
R5	160	18	33	32	83	51.9%
R6	160	16	19	34	69	43.1%
R7	160	14	17	22	53	33.1%
R8（見込）	160	9	15	18	42	26.3%

10人未満となる見込み

③ 保育ニーズの増加

(5)掛川中央幼保園(幼稚園利用)の入所状況

単位:人　各年4月現在

年度	定員	3歳児	4歳児	5歳児	計	入所率
R2	180	45	48	58	151	83.9%
R3	180	55	44	49	148	82.2%
R4	180	28	56	40	124	68.9%
R5	180	36	28	58	122	67.8%
R6	150(※)	44	39	31	114	76.0%
R7	150	27	44	39	110	73.3%

※幼稚園ニーズの低下に伴い、R6から幼稚園利用の定員を30人削減。
　従来の180人定員で計算するとR7の入所率は61.1%となり、R2と比較し△22.8%となる。

③ 保育ニーズの増加

(6)すこやかこども園(幼稚園利用)の入所状況

(　)内は歳児別の定員

単位:人　各年4月現在

年度	定員	3歳児	4歳児	5歳児	計	入所率
R2	154	26(40)	35(56)	29(58)	90	58.4%
R3	154	28	26	31	85	55.2%
R4	154	17	30	23	70	45.5%
R5	142(※)	21(36)	22(52)	34(54)	77	54.2%
R6	142	16	20	24	60	42.3%
R7	142	19	17	25	61	43.0%

※幼稚園ニーズの低下に伴い、R5から幼稚園利用の定員を12人削減。
　従来の154人定員で計算するとR7の入所率は39.6%となり、R2と比較し△18.8%となる。

③ 保育ニーズの増加

（7）0歳から2歳児の人口及び認可保育施設入所状況

単位：人

	0歳児			1歳児			2歳児			計		
	人口	入所数	在宅他	人口	入所数	在宅他	人口	入所数	在宅他	人口	入所数	在宅他
西　郷	48	12	36	48	35	13	56	46	10	152	93	59
倉　真	4	1	3	5	2	3	8	6	2	17	9	8
原　泉	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
計	52	13	39	53	37	16	65	53	12	170	103	67

入所率
81.5%

※人口は令和７年４月１日現在
※入所数は令和７年12月１日現在
※入所数には、認可外保育施設及び療育施設の入所数は含まない。

© 掛川市 2025 公開文書